

令和3事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 3年4月 1日

至：令和 4年3月31日

国立大学法人鹿児島大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	15,198	15,571	373	(注1)
うち補正予算による追加	-	126	126	
施設整備費補助金	1,321	1,240	▲ 81	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	771	1,897	1,126	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	47	47	-	
自己収入	31,897	33,276	1,379	
授業料、入学金及び検定料収入	5,556	5,517	▲ 38	(注4)
附属病院収入	25,427	26,572	1,146	(注5)
財産処分収入	-	0	0	
雑収入	915	1,187	271	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,570	3,075	504	(注7)
引当金取崩	-	34	34	(注8)
長期借入金収入	2,129	2,129	▲ 0	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	587	587	(注9)
計	53,934	57,856	3,923	
支出				
業務費	45,718	47,196	1,477	
教育研究経費	21,352	22,013	660	(注10)
診療経費	24,366	25,183	817	(注11)
施設整備費	3,497	3,416	▲ 81	(注12)
補助金等	373	1,488	1,115	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,570	2,487	▲ 84	(注14)
長期借入金償還金	1,775	1,744	▲ 31	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	53,934	56,330	2,397	
収入－支出	-	1,526	1,526	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越金、特殊要因運営費交付金等の追加措置により、予算額に比して決算額が373百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、基幹・環境整備事業の計画変更等により、予算額に比して決算額が81百万円少額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症に伴う補助金等を獲得したため、予算額に比して決算額が1,126百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金409百万円が含まれており、本補助金は授業料免除に使用しております。

(注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者数の増による授業料収入の増収等がありましたが、大学等における修学の支援に関する法律に基づく授業料等の減免認定者の増等により予算額に比して決算額が38百万円少額となっております。

(注5) 附属病院収入については、コロナ禍のなか平均在院日数の短縮を図り、救急車受入等による新入院患者増に努めたことによる入院診療収入の増及び高額薬等による外来診療収入増により、予算額に比して決算額が1,146百万円多額となっております。

(注6) 雑収入については、自己収入の獲得に努め、予防接種料収入等が増収したことにより、予算額に比して決算額が271百万円多額となっております。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が504百万円多額となっております。

(注8) 引当金取崩については、予算段階では計上していなかった退職給付引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が34百万円多額となっております。

(注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった前年度からの目的積立金の取崩しにより、予算額に比して決算額が587百万円多額となっております。

(注10) 教育研究経費については、(注9)に示した理由等により、予算額に比して決算額が660百万円多額となっております。

(注11) 診療経費については、(注5)に示した理由による収入見合の経費等の増加等により、予算額に比して決算額が817百万円多額となっております。

(注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が81百万円少額となっております。

(注13) 補助金等については、(注3)に示した理由により受入額が増額したため、予算額に比して決算額が1,115百万円多額となっております。

(注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により受入額が増額しましたが、翌年度に繰り越したこと等により、予算額に比して決算額が84百万円少額となっております。

(注15) 長期借入金償還金については、借入利率の見直し等により、予算額に比して決算額が31百万円少額となっております。